

～The landscape design of the Kochi Central Park to invigorate central city～

Infrastructure Systems Engineering Course  
1075036 Fuminori Gekyo

It can be observed that the population outflow from the central area to the suburbs in Kochi city. In year 2005, the Kochi medical center project that is executed in out side of the city will be completed. It can be predicted that the number of elderly people will also move out from the central area to it area.

You can see many shops closed shutters in Obiyamachi shopping area, because people do not visit in the area. Now days, this kind of problem and situation can be observed in many local cities in Japan. Many cities now looking for it's solution, but it is still quite difficult.

About 1, million tourists are visiting in Kochi City every year. They are enjoying to visit the Kochi Castle and Sunday street market. However, there are not appropriate facilities like bus terminals, parking areas and information centers for the tourists with in the central area.

Therefore all most all at tourists just go through in the area. This study is to make an appropriate plan and design for solving the problem.

[The problem and subject]

(Central Park)

- Many illegally parked bicycles
- muddy pond, and a stream without presence
- An open space without prosperity

(building around a park)

- The building which has turned the back to the park
- vacant stores
- A narrow entrance

[The design concepts were as follows]

- Installation of a sightseeing bus terminal
- Good relation between park and surround buildings
- Making comfortable walk space.
- Installation of a taxi pool and a bicycle parking lot

## 高知市中心市街地活性化の為の中央公園の景観デザイン

～The landscape design of the Kochi Central Park to invigorate central city～

社会システム工学コース 1075036

外京 史慎

## 目的・構成

本修士設計は、普段全く賑わっていない中央公園と、年々衰退している帯屋町商店街の一部を景観デザインの観点から活性化をアプローチするものである。

高知市の中心部には、行政機関や学校、商店街等、多くの都市機能が集積し、高知の長い歴史の中で人々の生活・交流の場として発展してきた。しかし今日では郊外への人口流出が増加や、少子高齢化問題もあり、中心地の空洞化が進み、商店街の交通量や集客率は年々減少してきている。中心市街地の活性化に繋がるような中央公園の設計を行う。

本修士設計は8つの章で構成されている。第一章では敷地の現況を調査し、第二章では敷地の歴史、第三章では上位計画・関連計画についてまとめている。第四章で課題を整理し、第五章でデザインの基本方針について述べている。第六章ではコンセプトに基づいた公園の設計と周囲の建築物の改修計画を提案し、第七章でこれらの実現に向けての検討を行い、最終章で結んでいる。

## 敷地の現状

敷地面積約0.7haの中央公園は、よさこい祭りなどの大きなイベント時には人で賑わっているが、普段はほとんど人がいない。大丸前のスペースや公園の周囲には自転車やバイクが乱雑に置かれ、車道はタクシーが並んでおり、人々の通行の邪魔となっている。東西にある池の水も汚く濁っており、近くのベンチでくつろごうという気分にはなれない。北西から南西にかけて流れる水路は規模が小さい上、自転車や植栽で隠れてほとんど存在感がない。公園全体が閑散とした雰囲気、親しみが持てない為、ほとんどの人が通過にしか利用していない。町の中心部にあり、おびさんロードや帯屋町商店街、はりまや橋公園と直結しているにもかかわらず、利用価値がなく、賑わいが無いという状況を生み出している。

## 高知市の観光客数(観光バス利用者数)

平成13年：320万人(435,018人)

平成14年：335万人(434,085人)

平成15年：331万人(430,818人)

(データ出典：高知市産業振興部観光課)

## 課題と問題点

敷地と周辺部の課題としては以下のものが挙げられる。

## 「公園」

- ・放置自転車(約180台)
- ・路上に並ぶタクシー(約6台)
- ・寂れた親水空間
- ・滞留空間としての機能欠如

## 「周辺建築物」

- ・公園に背を向けた建物
- ・空き店舗の増加(H9年からH15年にかけて約2倍増加)
- ・入り口の狭い店舗

## 「観光地」

- ・高知の玄関口としての機能性の欠如

## 設計の基本コンセプト

これらの課題を踏まえ、歴史・周辺環境を活かし、以下の内容を重視した設計を景観デザインを行う。

- ・高知市の玄関としての機能導入
- ・親水空間の演出
- ・快適な歩行空間の確保
- ・公園と周囲周囲の公共空間の繋がり確保
- ・公園と周辺商業施設の一体化

## 実施効果

この設計・計画の実施効果としては以下のものが挙げられる。

- ・公園への来る観光バスの増加(年間4000台以上)
- ・公園を中心とした付近一帯に賑わいが生まれる
- ・新しい商店街の集客率の向上
- ・快適な歩行環境



全体イメージパース

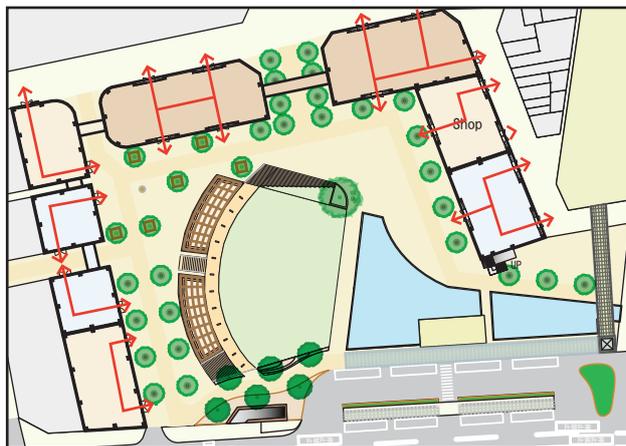


公園西口からケヤキ広場を見る

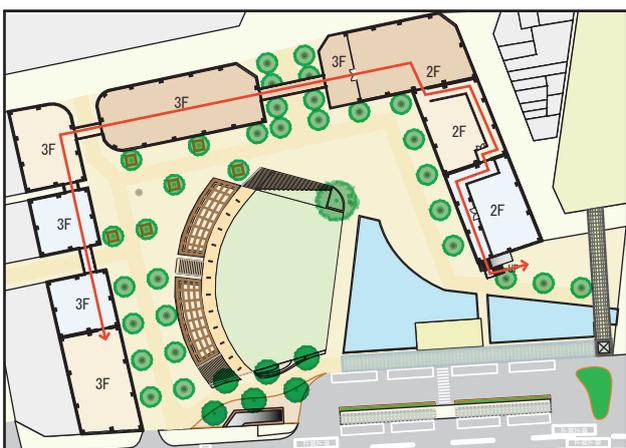
中央公園と帯屋町商店街やはりまや橋公園、おびさんロードとの繋がりを明確化する事で周囲に対して開放的な公園とした上で、周囲の商業施設の改修を計画し、公共空間と商業空間の一体化を図り、大きなイベント時だけでなく普段から賑わいのある空間を提案している。そして、観光等の情報が得られる施設の整った観光バスターミナルを設置する事で年間4000台以上のバスが訪れ、公園が高知の玄関口の一つとしての機能を持つ。公園側とアーケード側に表を向けた商業施設や、周囲に対して開放的な公園が観光客を歓迎する雰囲気を生み出す。周囲に閉鎖的だった公園が、市民だけでなく観光客もが楽しめる空間となる事で賑わいが取り戻せ、中心市街地の活性化に貢献できるはずである。

周囲の商業施設に関しては計画のみに留まっており、詳細設計や、どのようなテナントを誘致するかなど、その他具体的な部分の提案が今後の課題である。





商業施設1階平面配置図 (1 : 2000)



商業施設2・3階平面配置図 (1 : 2000)

公園周囲の商業施設の数店舗を一つのテナントビルとして改修工事を行い、集客率の向上を目指す。これは一斉に行うのではなく、老朽化が進み、改修が必要となった時や、南海大地震で倒壊してしまった建物の復旧時など、10~30年程の長期間に渡って完成する事を想定している。

本計画では公園周辺の地区を「都市美形成モデル地区」に指定する事を提案する。

アーケード、公園側の両方から入れるようにし、集客率の向上を目指す。各棟の2・3階部をデッキや通路で連結する事で店舗間の回遊性が増し、テナント次第で非常に歩いて楽しい商業空間となる。公園側の壁面はほとんどがガラス張りで店内と公園の双方から相手の賑わいが見取れるようになっている。

本設計を現実に行う際の費用（直接工事費）の概算を以下に示す。

・敷地総面積（中央公園）は6800㎡である。

「中央公園」

(土木工事)

・撤去工				10,000千円
・土工				5,000千円
・ブロック舗装	4336㎡	×	30千円/㎡	= 130,080千円
・アスファルト舗装	1750㎡	×	3千円/㎡	= 5,250千円
・バスシェルター	489㎡	×	50千円/㎡	= 24,450千円
・池の設備				30,000千円
・池の底面舗装	1047㎡	×	40千円/㎡	= 41,880千円
・芝生	1030㎡	×	2千円/㎡	= 2,060千円
・樹木	38本	×	100千円/㎡	= 3,800千円
・低木・花	74㎡	×	30千円/㎡	= 7,650千円
・照明	28本	×	500千円/㎡	= 14,000千円
			小計	274,170千円

(建築工事)

・観光案内所	96㎡	×	200千円/㎡	= 19,200千円
・自転車置き場	163㎡	×	100千円/㎡	= 16,300千円
・テナント	315㎡	×	150千円/㎡	= 47,250千円
			小計	82,750千円
			合計	356,920千円

「周辺建築物」

・商業施設(RG4階建建設のみ)	3020㎡	×	210千円/㎡	= 634,200千円
------------------	-------	---	---------	-------------

「総計」

991,120千円